

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ (イタリア) 2021年1月11日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ DKV 社、イタリアで道路課金システム車載器の試用を開始

DKV startet Pilotphase für Maut-Box in Italien

ドイツのモビリティサービス提供事業者 DKV 社は、欧州各国で DKV Box Europe を使用した通行料を徴収サービスの展開を進めており、今般イタリアで試用開始したと発表した。現在のところ同サービスでは、ドイツ、ベルギー、フランス、オーストリア、スペイン、ポルトガル、ブルガリア、ヴァルノウ・トンネル、ヘレン・トンネル、リエフケンスフク・トンネルの通行料を、現金なしで支払うことができる。DKV 社は今年中頃までにハンガリーとスイスでも運用を開始する。

ドイツ (サウジアラビア) 2021年1月11日 Spiegel オンライン版

### ■ 紅海の巨大プロジェクト「Neom」：サウジアラビアが車のない大都市を計画

Megaprojekt Neom am Roten Meer : Saudi-Arabien plant Millionenstadt ohne Autos

サウジアラビア・ムハンマド・ビン・サルマン皇太子は、国営放送で100万人が住む環境都市を建設する『ザ・ライン』プロジェクトを発表した。同プロジェクトは、2017年秋に皇太子が発表して議論を呼んでいる、紅海沿岸の5,000億ドル規模のプロジェクト『Neom』の一部とされる。都市は歩行者を主体とし、学校や病院、緑にあふれた公園を備え、徒歩と自転車での日常的な移動を想定している。交通インフラは、都市の主要地を地下で繋ぎ全長170kmに及ぶ計画である。AIが主要な役割を果たし、100%クリーンなエネルギーで運営される。

アメリカ 2021年1月11日 Government Technology

### ■ スーパーコンピュータはLAの交通問題解消に役立つか

Could a Supercomputer Help Fix L.A.'s Traffic Problems ?

エネルギー省のアルゴンヌ国立研究所は、交通渋滞緩和戦略の立案のため、ロサンゼルス大都市圏の交通データを調査している。南カリフォルニアの約11,160基のセンサーから収集した交通データ1年分および、携帯電話端末からの移動データを利用して、同研究所のスーパーコンピュータで予測モデルを構築する。

イタリア 2021年1月12日 Autostrade per Italia

### ■ イタリア・アトランティアグループ、昨年交通量実績を発表

ASPI Investor Presentation

イタリア・アトランティアグループは、決算発表に先立ち投資家に向けて、ASPI (イタリア)、SANEF (フランス)、Abertis (スペイン) の2020年交通量実績を発表した。新型コロナウイルス感染症が発生した4月、交通量は最大で約80%低下。その後ロックダウンが緩和されると急激に回復し8月にはSANEF (フランス)、ASPI (イタリア) では、同感染症が発生前の水準まで一時的に回復したものの、最終的に前年度実績比による交通量の増減率は、SANEF (フランス) は27.1%減、ASPI (イタリア) は24.6%減、Abertis (スペイン) 30.8%減となった。

ドイツ 2021年1月12日 Spiegel オンライン版

### ■ 電気自動車にソーラーパネル：日陰での駐車は過去のものに

Solarzellen für E-Autos : Schattenparken war gestern

自動車にソーラーパネルをつけるというアイデアは、長い間現実的ではないものと考えられていたが、新たな

潮流が生まれている。家電と技術の見本市 CES で、ドイツのスタートアップ企業 Sono Motors が、車体全体に太陽光発電パネルを組み込んだプロトタイプ『Sion』を発表した。これは消費者が手頃に使える、太陽光を電源とする最初の電気自動車になるという。条件が整えば、1日の太陽エネルギーで34kmまで走行距離が増えると言われている。

また、オランダ製の電気自動車 Lightyear One は、車体表面の太陽光発電パネルは5㎡あることから、1日の走行距離70kmまで見込まれる。2021年末の発売予定である。

アメリカ 2021年1月12日 Salt Lake Tribune

### ■ ユタ州の道路をよく利用するドライバーは、今後支払額が増える

Drive a lot? Here's why you're going to pay more to use Utah roads

ユタ州は、ガソリン税から1マイルあたりの道路利用料へと、徴収方法を切り替えることを検討している。またユタ州は近日中に、スキーシーズンにおけるビッグコットンウッド渓谷やリトルコットンウッド渓谷など、ピーク時に渋滞する道路区間を利用するドライバーに、変動制の料金と新しい道路利用者料金の両方を通じて課金する可能性がある。

イギリス 2021年1月12日 ITS International

### ■ ハイウェイ・イングランド、あおり運転を厳重取り締まりへ

Highways England cracks down on tailgating

ハイウェイ・イングランドと警察は、あおり運転対策として国内の高速道路と主要幹線道路に、設置場所を公表せずにカメラを試験的に設置した。その結果、設置後2週間で、10,000台近くの車両による、あおり運転が検挙された。

その後ドライバーは、あおり運転で安全な車間距離を保たないことから生じる危険性を警告する通知書を受け取るようになった。

ドイツ 2021年1月14日 ドイツ交通・デジタルインフラ省

### ■ 水素技術・システム分野の多国間プロジェクト支援が開始

Grenzüberschreitende Projektförderung im Bereich Wasserstofftechnologie und -systeme startet

本日より、ドイツ国内の企業は水素に関する欧州共通利益プロジェクト（IPCEI）支援への関心を表明し、計画・構想を2021年2月19日までに提出することができる。支援の対象となるのは、クリーンな水素製造、インフラの拡充、水素の利用（工業、モビリティなど）のための技術。水素に関するIPCEIは、連邦交通省と連邦経済省が共同で取り組む。ショイアー連邦交通相は「このプロジェクトによって、経済的に難しい時期に革新力と国際競争力を強化し、国内に新たな雇用を創出する」と語った。

イギリス 2021年1月14日 Daily Post North Wales

### ■ A55やA483のようなウェールズの道路に通行料が導入される可能性が高まる。アイドリングをするドライバーには多額の罰金が科せられる見込み

Tolls on Welsh roads like A55 and A483 moves closer - and hefty fines for drivers leaving engines running

ウェールズに道路通行料等の道路課金制度を導入する動きは、1月13日の新しいクリーンエア法案の発表により一歩進んだ。

ウェールズの閣僚は、特に大気汚染の激しい道路を利用するドライバーに課金することができれば、地域の

気質レベルが大きく改善されると考えている。

ドイツ (スイス) 2021年1月15日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ 欧州電子道路課金サービス：スイスが EU の課金サービス網に加わる

EETS : Schweiz nun an europäisches Mautnetz angeschlossen

ヨーロッパ統一の課金サービスを初めて利用して、国外からのトラックがスイス国境の町キアツを1月14日通行したと、スイス連邦税関事務局が発表した。欧州電子道路課金サービス (EETS) を提供する Telepass 社が、必要な数段階の認可手続きを済ませたという。

EETS を利用すると、国境での貨物交通が簡易化、迅速化する。国外からの輸送トラックのドライバーは、国境で車両を降りて重量や排気量に応じたトラック通行料を支払う必要がなくなる。

アメリカ (EU) 2021年1月15日 Traffic Technology Today

### ■ EU の交通安全プロジェクト『MeBeSafe』：行動科学を利用した行動変容を促す方法 (ナッジ)

EU MeBeSafe project announces eight 'soft' measures to save 366 lives on Europe's roads every year

行動科学を利用した行動変容を促す方法 (ナッジ) は、道路利用者が必ずしもそれを意識することなく、より安全に行動するように促すという発想からきている。

近年、人々の行動に影響を与える一般的な方法として有効視されるようになってきた。1例として、運転者が高速道路の出口でスピードを出していることが検知されると、路肩の道路照明が運転車に向かって移動しているようなパターンで点灯させることが挙げられる。これにより、スピードを出しているように錯覚させることができ、スピード違反をするドライバーが40%減少させることができた。このナッジは運転者にも非常に評判が良かった。

イタリア 2021年1月15日 Atlantia

### ■ 臨時株主総会でアトランティアの部分的および比例的な分割計画が承認される

L'Assemblea Straordinaria degli azionisti approva il progetto di scissione parziale e proporzionale di Atlantia

株主総会は、株式資本の99.7%の賛成票を得て、受益会社であるアウトストラデー・コンチェッショニー・エ・コストルツィオーニ社に有利なアトランティアの部分的および比例的な分割計画を承認した。受益会社は、イタリア・アウトストラデー社 (ASPI) の株式資本の33.06%に相当する株式投資からなる総額が割り当てられる。これにはアトランティアの株主に対する、分割に伴う受益会社の増資の全額の割り当てを伴う。この取引は、アトランティアによる残りのASPI株の55%に相当する現物資本の受益者への移転、およびイタリア証券取引所が組織し管理する受益者の株式のMTA (ミラノの電子株式市場) への上場も含まれる。

イタリア 2021年1月21日 イタリア・アウトストラデー社

### ■ イタリア・アウトストラデー社、投資とメンテナンスの全体計画

AUTOSTRAD E PER L'ITALIA, A PIENO REGIME PIANO DI INVESTIMENTI E MANUTENZIONI

- ・企業・組織構造の刷新：インフラのライフサイクルの統合的管理強化のため、子会社 Tecne と Free To Xperience の設立、Pavimental と Autostrade Tech の組織再編
- ・高速道路網を「スマートロード」に変えるための技術革新と応用研究を強力に後押し
- ・サービスエリアと休憩エリアは、自家発電のグリーンエネルギーのみで電力を供給
- ・STEM (科学、技術、工学、数学) 分野で2024年までに2,900人を新規雇用

アメリカ 2021年1月21日 Electronics360

### ■ ドローンに LIDAR を加えて調査を改善

Adding lidar to drones for improved surveying

測量とマッピングでのドローンの活用をさらに増やすために、Geozona社はMicrodrones社のポートフォリオに無人航空機システム(UAS)を加えた。

LIDARを装備したドローンを使用すると、道路建設プロジェクトの調査など、従来のやり方では複数の作業員で1週間以上かかっていた作業を、わずか数日で行うことができる。

フランス 2021年1月27日 LeFigaro

### ■ エファージュ・グループの子会社で高速道路を運営する APRR にとって、2020 年は不調な年に

EIFFAGE : une mauvaise année 2020 pour APRR, sa filiale d'exploitation d'autoroutes

APRRは昨夜、2020年の年間売上高が16.9%減の21億6900万ユーロとなったことを発表した。道路料金の減収が17.1%、商業施設・通信等の減収が10%である。

また、2020年の年間総交通量(km当たり)については、前年比で21%の減少を記録。軽車両は23.4%減、重量貨物車両は8.5%減であった。

アメリカ 2021年1月25日 Engineering News-Record

### ■ 斬新な FRP 製橋桁でメイン州の橋の寿命を延ばす

Novel Fiberglass Girders Extend Life of Maine Bridge

メイン州ハムデンにあるグリストミル橋は22.86mのシングルスパン橋だ。当局者によると、上部構造にコンクリート補強のない複合材製タブ桁を用いたアメリカ初の橋とのことである。5つのガラス繊維強化ポリマー(FRP)複合材製の梁などの耐食性の仕様も、ハイブリッド複合コンクリート橋の設計寿命を少なくとも100年は延長すると見込まれている。

アメリカ 2021年1月31日 The Associated Press

### ■ メイン州、今後数年で数十件の橋梁プロジェクト着手を計画

Maine plans dozens of bridge projects in coming years

メイン州交通省は、その3年間の作業計画には166の橋梁プロジェクトが含まれていると述べた。橋梁プロジェクトには、ヤーマスにある州間高速道路I 295号線の橋梁2基と、フリーポートにあるI 295号線と交わる橋梁2基の架け替え工事(総額3880万ドル)が含まれる。このプロジェクトには連邦政府から助成金も拠出される予定である。

ドイツ 2021年2月2日 ドイツ連邦道路交通研究所(BAST)

### ■ 第9回トンネル・シンポジウム、成功裏に終わる

Erfolgreiches 9. BAST-Tunnelsymposium

シンポジウムは、トンネルの建設と運用における現在の進展と傾向の概説から始まった。続いて、道路トンネルを維持するためのビルディング・インフォメーション・モデリング(BIM)作業方法の開発についての考察が示された。トンネル構造物のライフサイクルコスト評価に対する耐用年数の影響、道路トンネルの持続可能な運用のための地熱エネルギーのパイロットプロジェクト、およびRITUNプロジェクトの一環として開発された道路トンネルのレジリエンスを改善するためのマニュアルは提示された。その他のテーマは、事故や事象が発生した

場合における利用再開に向けた最適化戦略と、土木構造物を更新した場合のマクロ経済効果の考え方であった。

アメリカ 2021年2月2日 KTNV

### ■ ネバダ州南部地域交通委員会とネバダ州交通省がフリーウェイで先進技術を展開するための助成金 600 万ドルを獲得

RTC, NDOT received \$ 6M grant to expand emerging technologies on freeways

今後、国道 95 号線で展開される技術には、逆走ドライバーに即座に警告するセンサー、渋滞緩和と排出量削減のためにデータを収集する HOV レーンの占有率検出センサー、急ブレーキによる衝突を緩和するための事故事象、速度低下、車線閉鎖をドライバーに警告する頭上式標識などがある。

フランス 2021年2月5日 Vinci

### ■ 2020 年の通期業績

Résultats annuels 2020

2020 年の連結の売上額は 432 億ユーロとなり、実質ベースで前年比 10.0% 減となった。

コンセッション部門の売上額は 58 億ユーロで、実質ベースで 31.7% (比較可能ベースで 33.5%) 減。そのうち、道路部門であるヴァンシ・オトルートの売上額は 46 億ユーロで、17.5% 減。フランスおよび欧州において、特に第 2 四半期、第 4 四半期におけるロックダウン期間に適用された通行制限のための交通量縮小によるものである。

イギリス (アメリカ) 2021年2月5日 World Highways

### ■ フェニックス市がリサイクルアスファルト舗装 (RAP) に『Anova』を用いる

Rapping with Anova in Phoenix

アリゾナ州のアスファルトは非常に硬く、もろい。この問題を軽減するために、ソルテラ社は、脂肪酸、植物油、石油系と植物系の油を調合したものなど、多くの種類の再生添加剤を調べ、どの添加剤が最良の結果をもたらすかを調べた。その結果、カーギル社の植物油系再生添加剤『Anova』が、群を抜いて最も効果的だと判断された。

ドイツ 2021年2月5日 Verkehrsundschau オンライン版

### ■ アウトバーンの建設品質にはかなりの差があると指摘する報告書が発表される

Laut Bericht : Bauqualität bei Autobahnen sehr unterschiedlich

連邦政府による新しい報告書は、すべてのプロジェクトで高い建設品質が達成されたわけではないことを示しており、これまで賞賛されてきたアウトバーン建設における官民協働に影を落とす内容である。

先週発行された『PPP プロジェクトの実施に関する連邦政府の報告書』では、「建設の質は案件ごとに別々に評価され、建設区間の機能の十全さは保証されている」と回りくどい表現で述べられている。

イギリス (スペイン) 2021年2月5日 ITS International

### ■ Signify 社がグラン・カナリア島のスマート高速道路を照らす

Signify brightens Gran Canaria smart highway

グラン・カナリア島の評議会には、出力 32,000 lm の Philips 社製『DigiStreetLED』を選んだ。このシステムは保守管理が簡単で、ポイントごとに管理ができ、高速道路のあらゆる状況に対応したりリアルタイムの調整が可能。例えば、事故が発生したエリアの照明を明るくしたり、道路に車両が存在しないときに照明を 30% まで暗くすることもできる。